



2014-2015 年度

国際ロータリー会長／ ゲイリー C. K. ホアン
2690地区ガバナー／ 松本 祐二

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp
9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

会長／ 内田 節夫 副会長／ 河原 治子
幹事／ 福田磨寿穂 会 計／ 小村 益造

■例会プログラム ■

例会日	卓話者	演題
2月12日	会員 佐々木 哲也	モータースポーツと環境対策
2月19日	松江 RC 大谷 公夫 様	変化の時代に生きる
2月26日	米山奨学生 苗 靖(ミヨウ セイ)様	私が見た日本とロータリー

■出席報告 ■

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前々回補正出席率
44	35	9 (4)	87.50%	84.62 %

■欠席者 ■

釜屋／大谷／持田祐／園山／飯塚俊
(山根／牧野／木村／山口)

■来訪者 ■

なし

■メイクアップ ■

なし

■次回例会受付当番 ■

(2 月 26 日) 大谷良治／飯塚詔夫／石原輝男
(3 月 5 日) 田中久雄／板垣文江／伊藤義徳

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう) ■

月	出雲中央	松江南
火	出雲 2/17 4/7 3/7・4/14(休)	松江しんじ湖
水	大社	松江
木		松江東
金	出雲南	

■会長挨拶 ■

2月は如月ともいい、草木の更生する季節です。私自身も常にこの気持ちを持ちたいとおもいます。

さて、今日は若者向きの話を一つ、14日はバレンタインデーですね。3世紀にローマで殉職した司祭バレンタインに由来する記念日と言うことです。死をも覚悟した熱愛、ロマンスに拍手を贈りたい。

(女性から男性にチョコを渡すのは日本独特なもの日本では1960年頃より、欧米では男性から女性へ花束やカードを送るのが一般的)

(ローマ皇帝は強兵策として若者の結婚を禁止していた、これに反対したバレンタインはひそかに結婚式を行い、その罪で処刑される。)

■幹事報告 ■

1. 会長エレクト研修セミナー(PETS)開催について

日 時 3/7(土)・8(日) 13:00～

会 場 岡山全日空ホテル(岡山国際交流センター)

当クラブ河原治子会長エレクト出席致します。

■スマイル ■

内田 (佐々木会員のスピーチ楽しみにしています。)

横野 (佐々木会員のスピーチを楽しみにしていましたが、用事があり早退させていただきます。残念です。)

飯塚大 (佐々木会員の興味深いスピーチ楽しみにしております。)

佐々木 (今日は趣味の話をしていただきます。)

来間 (先週は欠席して失礼しました。約2週間前のこととなりましたが、もちまち木綿街道イベントへご参加とご協力ありがとうございました。当日は予想を上回る人出で対応におわれてしまいました。)

飯塚俊 (先日の新入会員セミナーにおきまして伊藤委員長、大変お世話になりました。本日、所用により欠席させていただきます。)

■スピーチ・例会行事 ■

「モータースポーツと環境対策」 佐々木哲也 会員

今日は医学の話ではなく、趣味であるフォーミュラ1(F1)の話をする。F1は、FIA(国際自動車連盟)が主催するモータースポーツの最高峰であり、1950年にイギリスのシルバーストーンサーキットで初開催され、以後、ヨーロッパを中心に発展しました。毎年世界 18～20 カ国を転戦し、決勝レースでの順位に応じてポイントを獲得、年間チャンピオンを争います。オープンホイール・オープンコックピット・ワンシーターを特徴とするフォーミュラカーに乗り、305km超の周回コースを1時間30分～2時間で走行します。自動車メーカーを初めとする各チームが、車体やエンジンの開発を競っていますが、コーナーを速く走るための技術として、飛行機の翼を天地逆にした形のウイングをフロント・リアに配置することで得られる“ダウンフォース”が特徴です。

各グランプリでは、現地時間の金曜日午前・金曜日午後・土曜日午前に計3回開催されるフリー走行に続いて、土曜日午後に予選を行い、ポールポジションを競います。決勝レースは日曜日午後にスタートしますが、現在のルールではコンパウンドの違う2種類のタイヤを最低 1 回ずつ装着する義務があり、各チームは予選・決勝を見据えて戦略を練ります。

モータースポーツも環境と無縁ではなく、F1での環境対策として、従来から1グランプリで使用するタイヤ数を制限したり、サーキットでのテスト走行回数が制限されていました。さらに1年間で使用するエンジンやギアボックスの数も制限されるようになり、規定を超えて追加する度に決勝レース時にペナルティが課されることになっています。

また決勝レース時に使用するガソリン量を制限する目的で、市販車のハイブリッドシステムを応用した運動エネルギー回生が(2009年から)導入されていましたが、2014年からは、さらにターボシステムを再導入するとともに新たに熱エネルギー回生も始まりました。これによって、市販ガソリン車のエネルギー効率26～30%に対し、F1では40%にも達しています。

一方、完全電気自動車によるモータースポーツ(フォーミュラE)が、2014年秋から新たに進行中で、2015年夏までに計10戦が予定されています。走行時に一切排気ガスを出さず環境にはやさしいですが、フォーミュラEの決勝レース所要時間約50分を走行するために、フル充電したもう1台のフォーミュラカーに途中で乗り換える必要があります。バッテリーの性能にまだまだ大きな問題があり、蓄電技術の向上が大きな課題となっています。